

うたう仲條 おどる仲條

—文字と画と、資生堂と

資生堂ギャラリーは、2026年3月3日（火）～6月28日（日）まで、「うたう仲條 おどる仲條 —文字と画と、資生堂と」展を開催します。日本を代表するグラフィックデザイナーである仲條正義（1933-2021）。没後から5年目を迎えた本年、資生堂社の企業文化誌『花椿』をはじめ、資生堂パーラーのポスターやパッケージ、展覧会では初出品となる貴重な原画など仲條が生涯にわたり当社と歩み世に生み出した作品を厳選し公開します。

仲條正義は、当社活動の多岐にわたるデザインやアートディレクションに従事するとともに松屋銀座（1978）や東京都現代美術館（1995）のロゴデザインなどでも知られています。時代に対する鋭い感性とアヴァンギャルドな精神から繰り広げられる唯一無二の世界観は、国内外のグラフィックデザイン界において今もなお異彩を放っています。

とりわけ、2000年代以降コンピューターによるグリッドシステムを用いたデザインが定着するなか、自由な構成や手描きによる仲條作品の存在が再び際立つようになり、次世代に大きな影響を与えています。

あらためて、そのデザインをひもとくと、「文字」と「画」、それぞれの卓越した力はもとより、仲條のライフワークともいべき『花椿』に見るエディトリアルデザインに「文字と画」の響き合いの真価を見出すことができます。文字を巧みにつくる、あるいは組み上げ、自らの手で画を描き、またイメージを写真で創り上げる。それらが仲條の手で組み合わされると、文字はリズムをもってうたいだし、画はたちまちおどりだします。仲條は生前、「デザインはうたになる方を選ぶ」と語っており、その特徴は「おどっている」とも評されました。

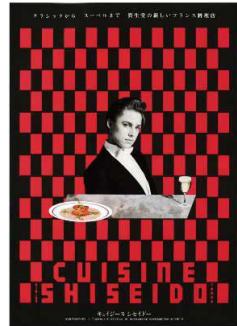
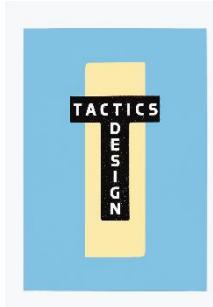
そこには、文字を造形として扱い、画と一体化させて成立させる日本美術に特徴的な造形感覚、和歌や百人一首、琳派、浮世絵などにおいて脈々と受け継がれる日本の美意識の今日の姿を見て取ることができるかもしれません。

本展は、日本美術のこうした特色を踏まえながら、資生堂社とともに手がけた数々の作品を通じ、仲條デザインの本質の一端に迫ろうとする試みです。前衛的であり、かつ色褪せない。それは、仲條が歴史の中から普遍的な美をすくいあげ、新たなかたちで表現し続けていたからともいえるでしょう。価値観や美意識が多様化している現代だからこそ、仲條の仕事に向き合い、あらたな時代に向けた美の可能性を探ります。

SHISEIDO GALLERY

■見どころ1 資生堂社とともに手がけた作品（約200点）を厳選

資生堂社にて収蔵している作品を中心に、化粧品の広告ポスター、資生堂パーラーのパッケージや包装紙、時計などのプロダクト、さらには、展覧会では初出品となるイラストの原画などを厳選してご紹介します。



展示の一部（左から）

キュイジーヌ シセイドー オリジナルプレート、1984

資生堂パーラー ビスキュイ パッケージ、2015

タクティクスデザイン、1983

キュイジーヌ シセイドー ポスター（撮影：小暮徹）、1984

■見どころ2 手にとって、肌で感じる『花椿』（約350冊）

仲條が40年にわたり手がけた当社の企業文化誌『花椿』。そのうち1982年から2011年まで、同氏がアートディレクターとして采配をふるった冊子を収めたライブラリーコーナーを設置、本展のなかで一挙公開します。ページの展開や構成も含め、仲條の真骨頂ともいえるグラフィカルなエディトリアルデザインを手にとって、肌で感じていただけます。

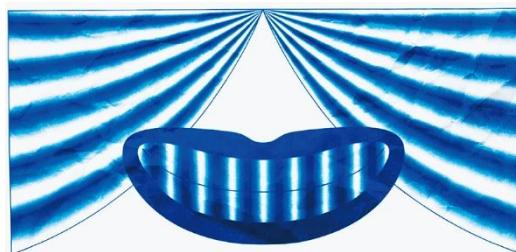


『花椿』 表紙 1983年1月号

撮影／富永民生、スタイリング／檜山カズオ、ヘアメイク／マサ大竹

■見どころ3 うたい継がれる仲條

学生時代から仲條に憧れ、自身の作風に影響を与えていていると言うグラフィックデザイナーの山口崇多氏（[株式会社コル](#)）が、仲條デザインのエッセンスを再解釈して制作した映像作品を展示。仲條の「うた」や「おどり」、その造形感覚を次世代につなげようと試みます。



「忘れちゃって EASY 思い出して CRAZY」出品作、2012

資生堂パーラー 銀座本店（東京都中央区銀座 8-8-3）では、特別メニューのご提供など、本展とのコラボレーションも予定しております。また、本展に関わる関連企画含め、最新情報については資生堂ギャラリーHP、SNSをご覧ください。

仲條正義（なかじょう・まさよし）



撮影：若木信吾

1933年東京生まれ。東京藝術大学図案科（現デザイン科）を卒業、1956年に株式会社資生堂宣伝部に入社。1959年同社退社、株式会社デスカ入社。1960年フリーとなり、1961年に仲條デザイン事務所を設立。1966年から2011年まで資生堂社の企業文化誌『花椿』を手がけ、資生堂パーラーのパッケージ、同社のブランドや企業文化活動のグラフィックなど多くの作品を精力的に生み出した。資生堂パーラーでは現在も仲條デザインの商品が販売されているなど、その精神は資生堂社に生き続けている。資生堂ギャラリーでの仲條の個展は2012年に開催した「仲條正義展 忘れちゃって EASY 思い出して CRAZY」以来2回目。東京ADC会員最高賞、東京TDC会員金賞、JAGDA亀倉雄策賞、毎日デザイン賞、毎日ファッション大賞・鯨岡阿美子賞、紫綬褒章、旭日小綬章ほか受賞多数。2021年10月26日没。

PRESS RELEASE

SHISEIDO GALLERY

■ 「うたう仲條 おどる仲條 —文字と画と、資生堂と」開催概要

会期：2026年3月3日（火）～6月28日（日）

会場：資生堂ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下 1階

TEL : 03 -3572 -3901 fax. 03 -3572-3951

URL : <https://gallery.shiseido.com/jp/> (資生堂ギャラリー ホームページ)

<https://www.instagram.com/shiseidogallery/> (資生堂ギャラリー Instagram)

<https://twitter.com/ShiseidoGallery> (資生堂ギャラリー X (旧twitter))

開館時間：平日 11:00～19:00 日・祝 11:00～18:00

休館日：毎週月曜休（月曜日が祝日にあたる場合も休館）

入場料：無料

主催：株式会社 資牛堂

協力：仲條デザイン事務所

フライヤー・デザイン：葛西薫



《フライヤー表面》



《同・裏面》

*表面の四隅のパーツは、仲條正義「タクティクス・メンバーズ トランプ、1978」より

PRESS RELEASE

SHISEIDO GALLERY

■本展に関する問い合わせ 資生堂ギャラリー tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

<p>展覧会について 10:00～17:00 土日祝休</p>	<p>衣川 megumi.kinukawa@shiseido.com 佐脇 reijiro.sawaki@shiseido.com</p>
<p>画像資料請求先 11:00～18:00 月休</p>	<p>永田 ayako.nagata@shiseido.com 大橋 noriko.ohashi@shiseido.com ※メールは上記2名に同送ください。</p>